

2011 年度～2013 年度
「授業改善のための学生アンケート」 結果報告書

白百合女子大学

目 次

1. 2011 年度～2013 年度「授業改善のための学生アンケート」 実施目的・概要

① 目的	1
② 実施概要	1
③ 実施方法	2
④ 設定項目	2
⑤ アンケート用紙	3
⑥ 実施科目数	4

2. 2011 年度～2013 年度「授業改善のための学生アンケート」 集計結果

① 学部	5
② 大学院	15

おわりに

1. 2011 年度～2013 年度「授業改善のための学生アンケート」実施目的・概要

① 目的

- 1) さまざまな角度から学生の反応・実態を知ること、個々の授業の授業内容・教授方法等を、教員自身が見直し改善するための材料を提供する。あくまで教員の自発的な取り組みを助けるものであり、いかなる形においても、教員の評価・査定の資料とするものではない。
- 2) 設備や機材、資料など、学習に適した環境を大学がどの程度提供できているかを測定し、これを改善していくための材料を得る。
- 3) 学生が学びたい内容を適切なレベルできちんと教授できているかを知り、大学全体、あるいは学科や学年ごとのカリキュラム内容を、必要に応じて改善していくための材料を得る。
- 4) 科目に対する学生の意欲や、授業時間外での学習の実態を把握することで、カリキュラムが想定している努力を学生が傾けているかを測定し、必要に応じて改善の方法を探るための材料を得る。
- 5) 学生に対して、自らの学習のあり方を見直し、大学での学習をより実りあるものとするための材料を提供する。

② 実施概要

	実施期間	実施対象科目※	その他
2011 前期	2011 年 7 月 18 日（月） ～ 2011 年 8 月 6 日（土）	すべての 前期科目	・無記名式マークシート （自由記述欄あり） ・学部・大学院共通フォーム ・調査所要時間約 15 分
2011 後期	2011 年 12 月 15 日（木） ～ 2012 年 1 月 24 日（火）	すべての 通年・後期科目	
2012 前期	2012 年 7 月 17 日（月） ～ 2012 年 8 月 6 日（月）	すべての 前期科目	
2012 後期	2013 年 1 月 10 日（木） ～ 2013 年 1 月 30 日（水）	すべての 通年・後期科目	
2013 前期	2013 年 7 月 16 日（火） ～ 2013 年 8 月 6 日（火）	すべての 前期科目	
2013 後期	2014 年 1 月 10 日（金） ～ 2014 年 1 月 29 日（水）	すべての 通年・後期科目	

※ただし、履修人数が 5 名以下の授業や、授業形態から考えて調査実施が困難な授業などについては、担当教員の申出により、調査対象科目から除外する。

③ 実施方法

- 1) 授業開始前に、授業担当教員は教務課でアンケート用紙の入った封筒を受け取る。
- 2) 授業終了の15分前を目安に、履修学生にアンケート用紙を配布する。
- 3) 任意で設定できる質問項目欄を使用する場合、あらかじめ用意してきた「学生に答えてほしい質問内容」を、口頭あるいは板書で学生に周知する。
- 4) 授業担当教員は、学生に対し実施目的をよく読み、回答を行うように指示する。
- 5) 学生がアンケートを記入している間は、授業担当教員は机間巡視等、必要以上に教室を移動することで学生の記入の妨げにならないよう注意する。
- 6) 授業担当教員は、受講人数に応じた数の回収担当学生を指名し、終了時刻と同時にアンケート用紙を回収させ、所定の袋に入れ封をするよう指示をする。
- 7) 授業終了後、授業担当教員は教務課にアンケート用紙を回収した厳封済みの袋を提出する。

④ 設問項目

- Q1 この授業にどの程度出席しましたか。
- Q2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。
*2011 のみ (大学院科目対象外) 毎回の授業の事前準備や復習に、平均してどの程度時間をかけましたか?
- Q3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。
- Q4 この授業の内容を十分に習得できたか。
- Q5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。
*2011 のみ この授業のシラバスの記述を事前に読みましたか。
- Q5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ)
*2011 のみ (Q5①で「はい」と答えた人のみ) この授業のシラバスの記述は適切でしたか?
- Q6 教員の話は聞き取りやすかったですか。
- Q7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- Q8 教科書や配付資料など、教材は適切だったか。
- Q9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。
- Q10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたか。
- Q11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたか。
- Q12 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。
- Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか。
- Q14 この授業の進度は適切でしたか。
- Q15 この授業の難易度は適切でしたか。
- Q16 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。

- Q17 教室の設備は適切でしたか。
- Q18 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。
- Q19 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。
*2011 のみ この授業に満足していますか。
- Q20 この授業について、良かった点、改善してほしい点などを自由に記述してください。
- Q21 この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省していることなどを、自由に記述してください。
- Q22 (教員より指示があった場合のみ記述してください)
- Q23① この授業を評価するにあたって、このアンケートの質問項目は十分かつ適切だと思いますか。
- Q23② (Q23①で「いいえ」と答えた人のみ) 欠けている項目、不適切な項目などを、具体的に記述してください。
- ※Q1～Q19、Q23①は選択回答式。Q20～Q22、Q23②は記述回答式。

⑤ アンケート用紙

<参考：2013 年度版>

The image displays two pages of a student survey form titled '授業改善のための学生アンケート' (Student Survey for Course Improvement). The left page contains the survey's purpose, a header for course information, and a table of questions Q1 through Q23. The right page shows the response area for Q20 through Q23, with Q20 and Q21 having large text boxes for open-ended responses, and Q22 and Q23 having smaller text boxes for specific feedback.

⑥ 実施科目数

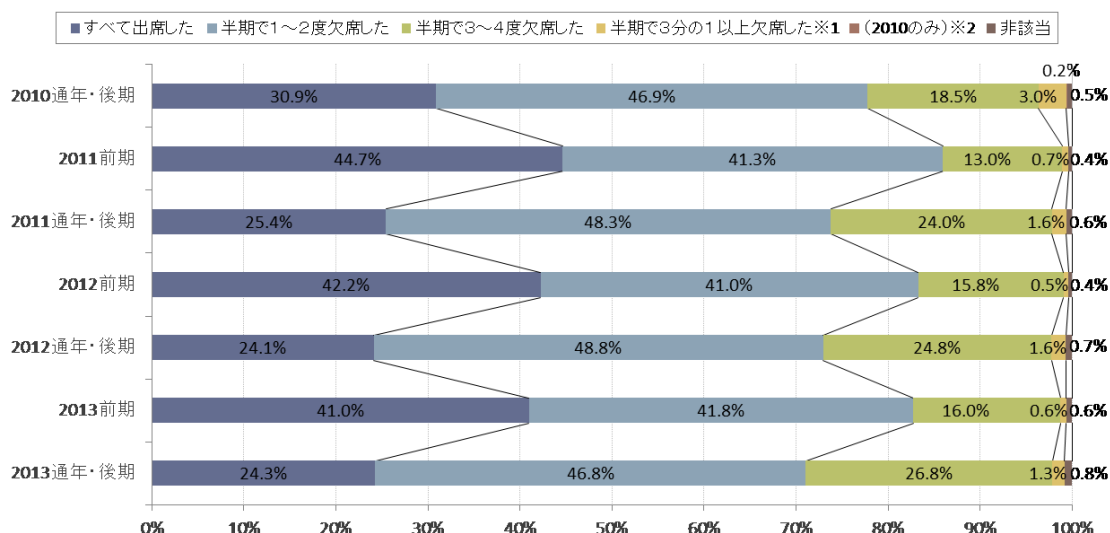
	学部	大学院	総実施科目数
2011 前期	209	17	226
2011 後期	638	47	685
2012 前期	332	9	341
2012 後期	672	46	718
2013 前期	389	7	396
2013 後期	684	45	729

2. 2011 年度～2013 年度「授業改善のための学生アンケート」 集計結果

(経年変化比較のため、2010 年度集計結果も参考データとして掲載いたします。)

① 学部

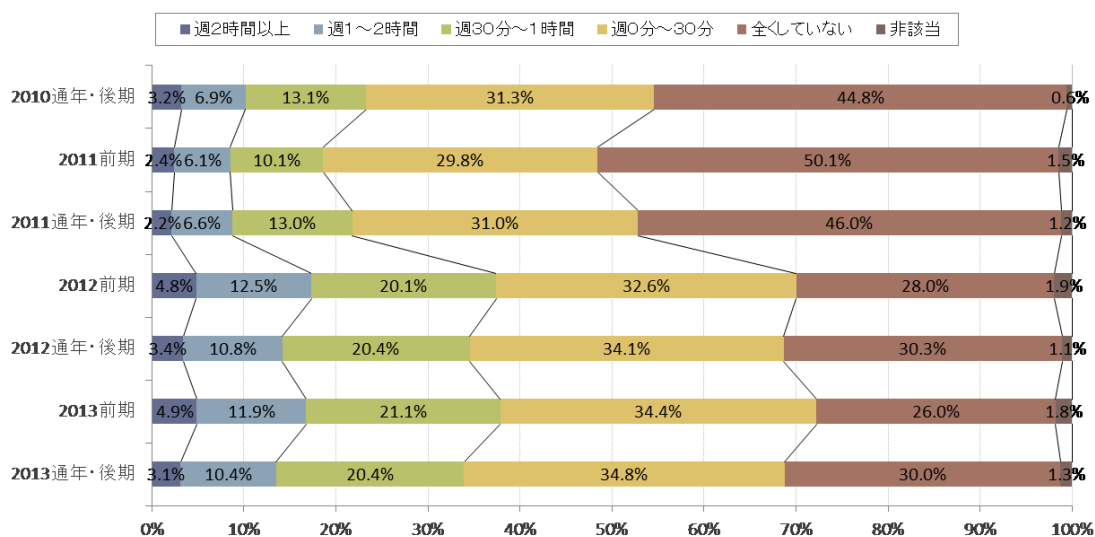
Q1 この授業にどの程度出席しましたか。



※1 2010 選択肢 「半期で3分の2程度出席した」

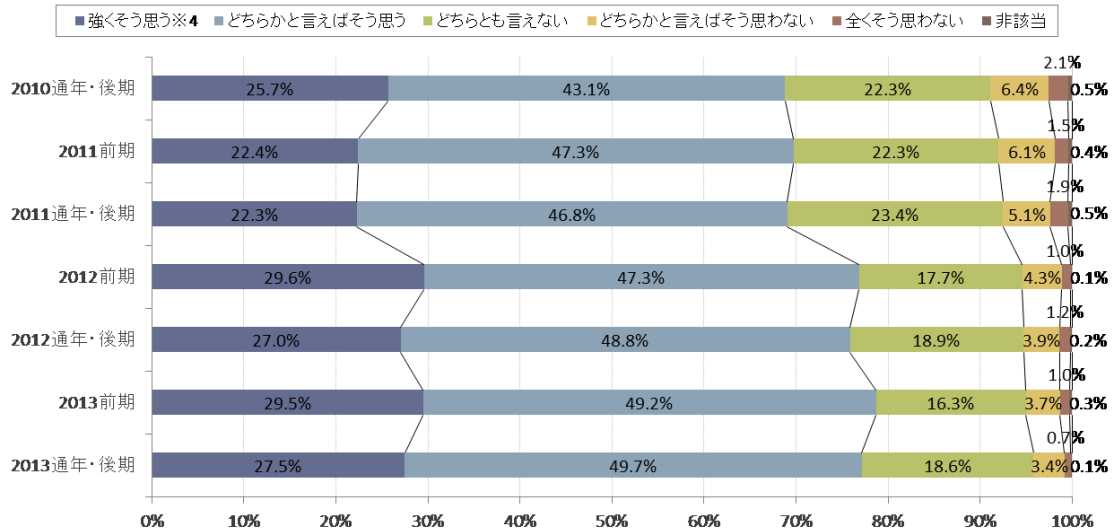
※2 2010 選択肢 「ほとんど出席しなかった」

Q2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。 ※3



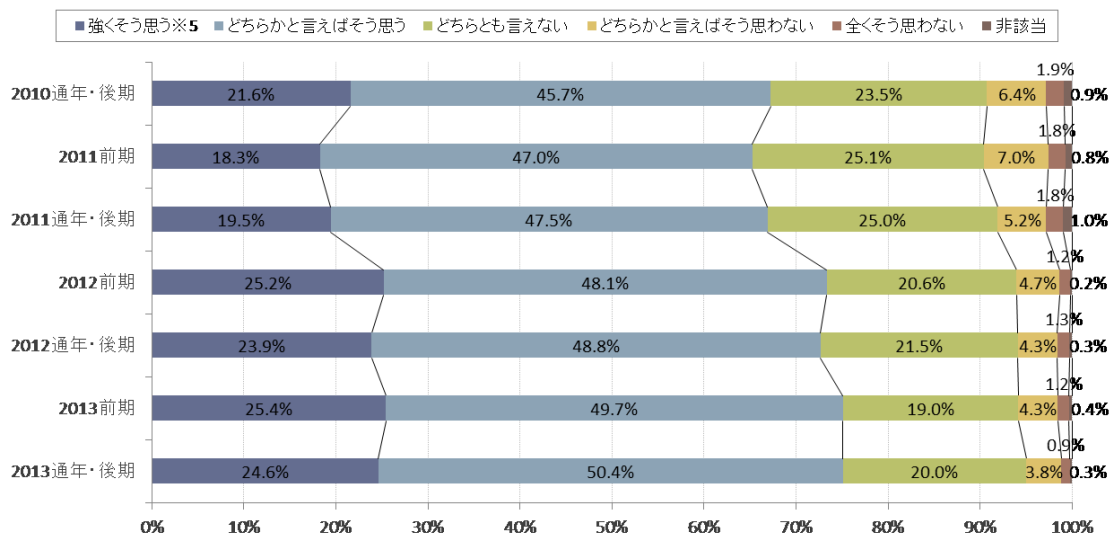
※3 2010-2011 設問 「毎回の授業の事前準備や復習に、平均してどの程度時間をかけましたか。」

Q 3 この授業に主体的に取り組むことができたと思いますか。



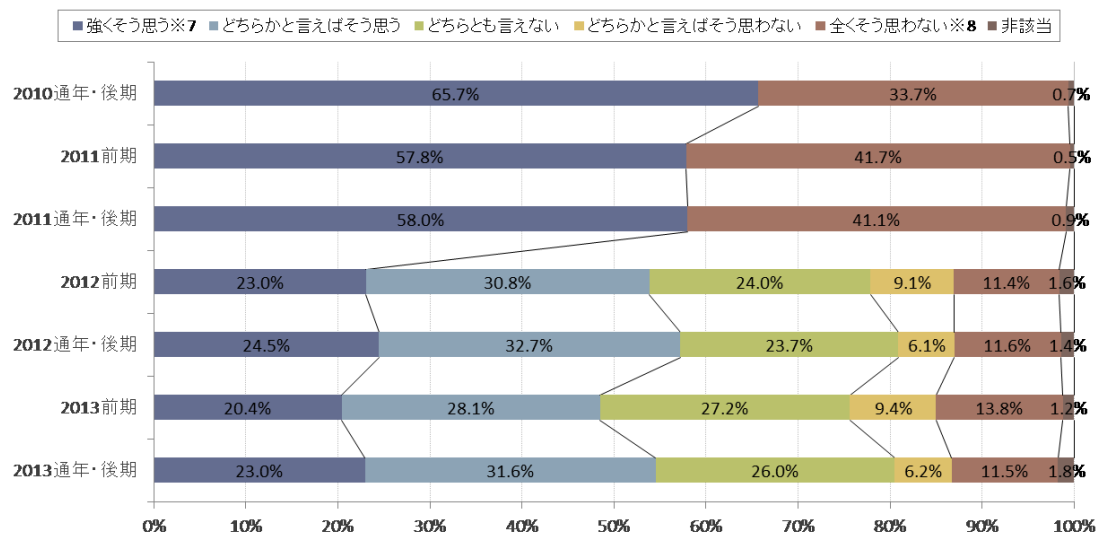
※4 2010 選択肢 「■全くそう思う」

Q 4 この授業の内容を十分に習得できたと思いますか。



※5 2010 選択肢 「■全くそう思う」

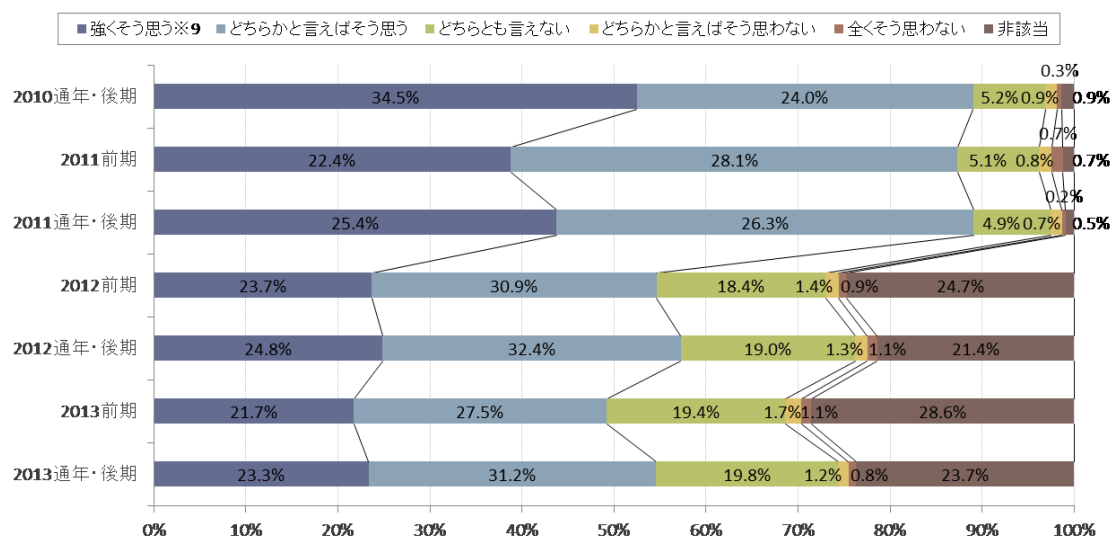
Q 5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。 ※6



※6 2010-2011 設問 「この授業のシラバスの記述を事前に読みましたか。」

※7※8 2010-2011 選択肢 (2 択) 「■はい ■いいえ」

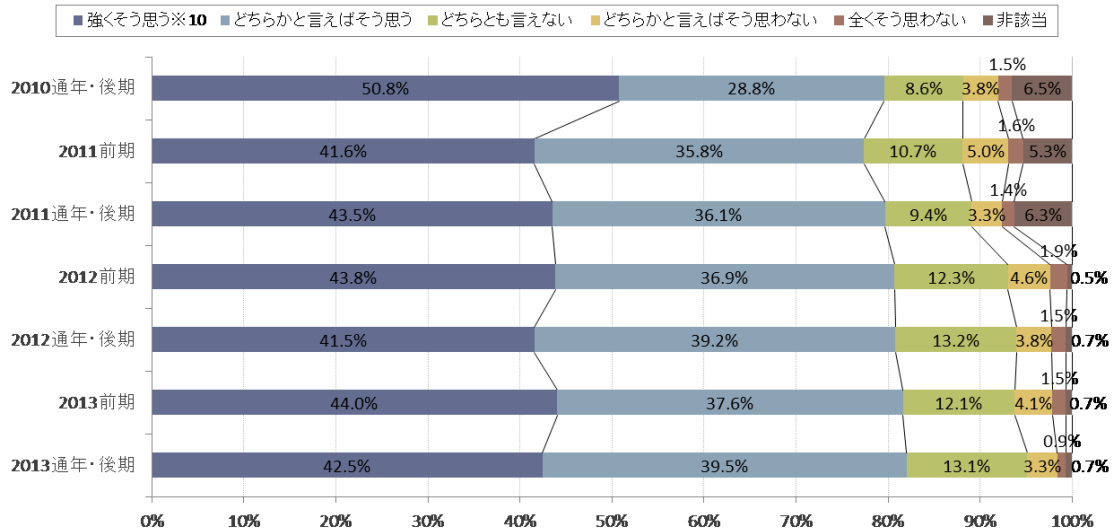
Q 5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ) ※8



※8 2010-2011 設問 「(Q5①で「はい」と答えた人のみ) この授業のシラバスの記述は適切でしたか。」

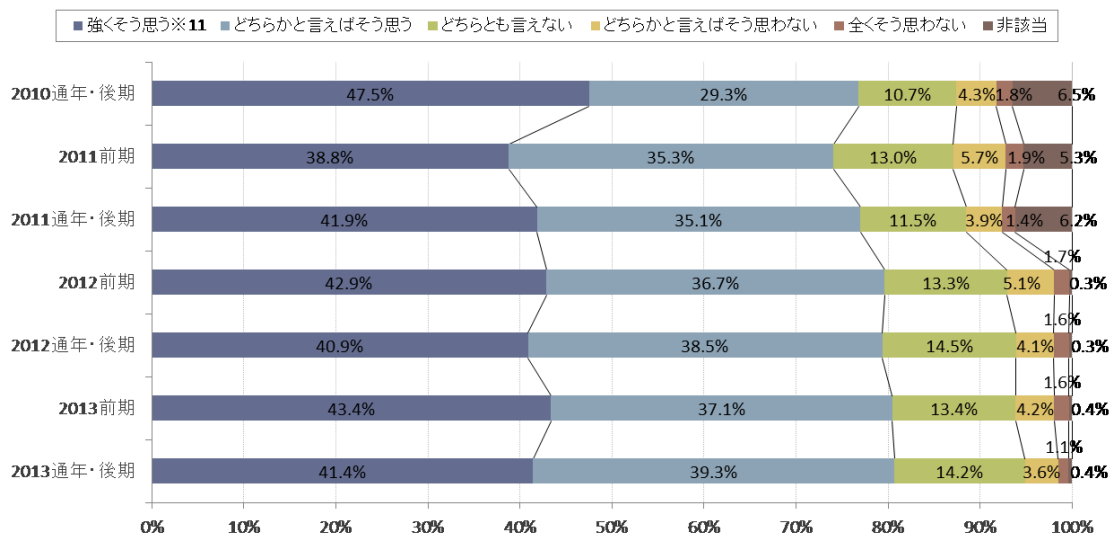
※9 2010 選択肢 「■全くそう思う」

Q 6 教員の話は聞き取りやすかったですか。



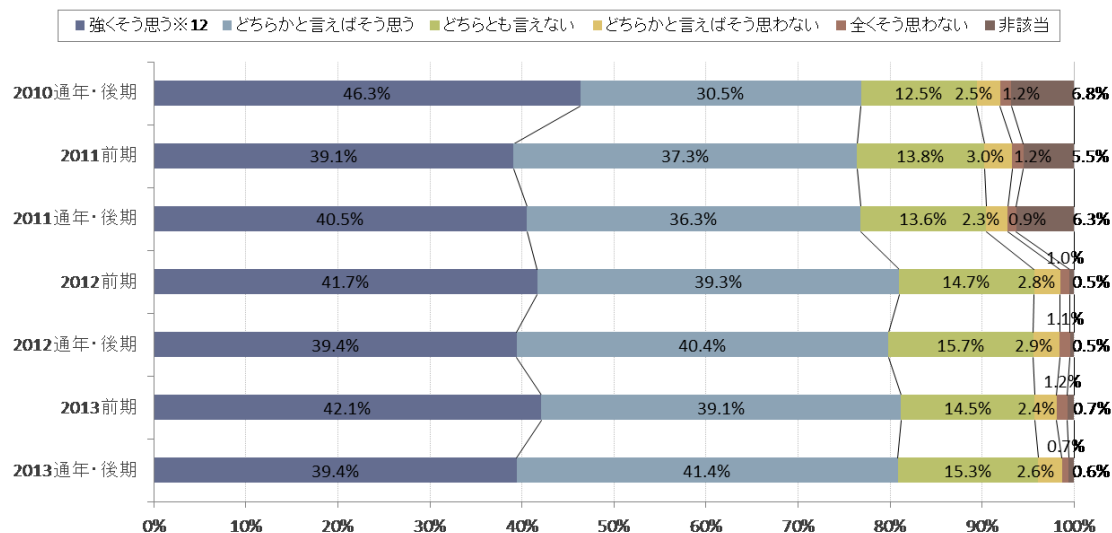
※10 2010 選択肢 「■全くそう思う」

Q 7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。



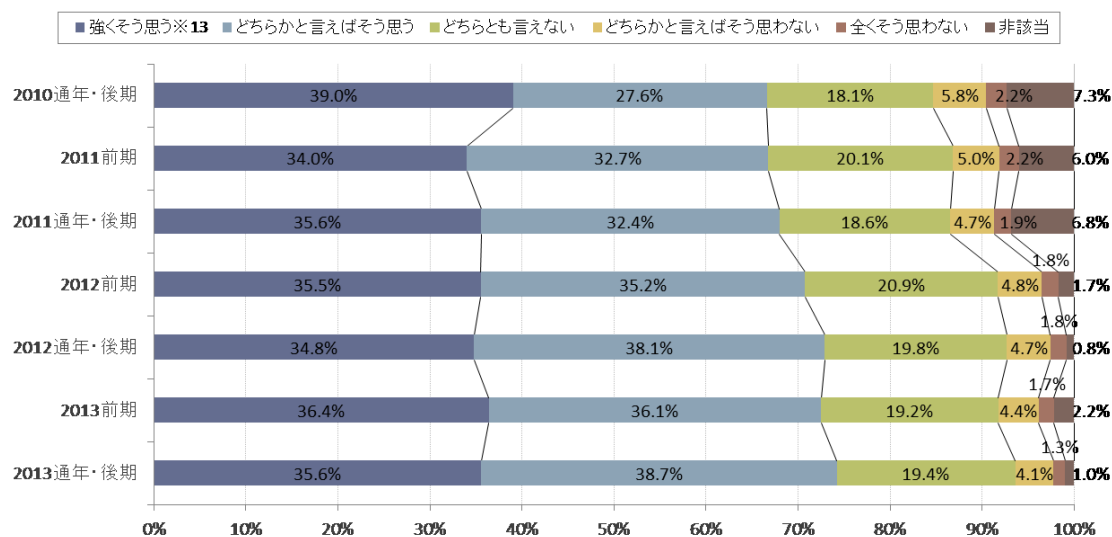
※11 2010 選択肢 「■全くそう思う」

Q 8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。



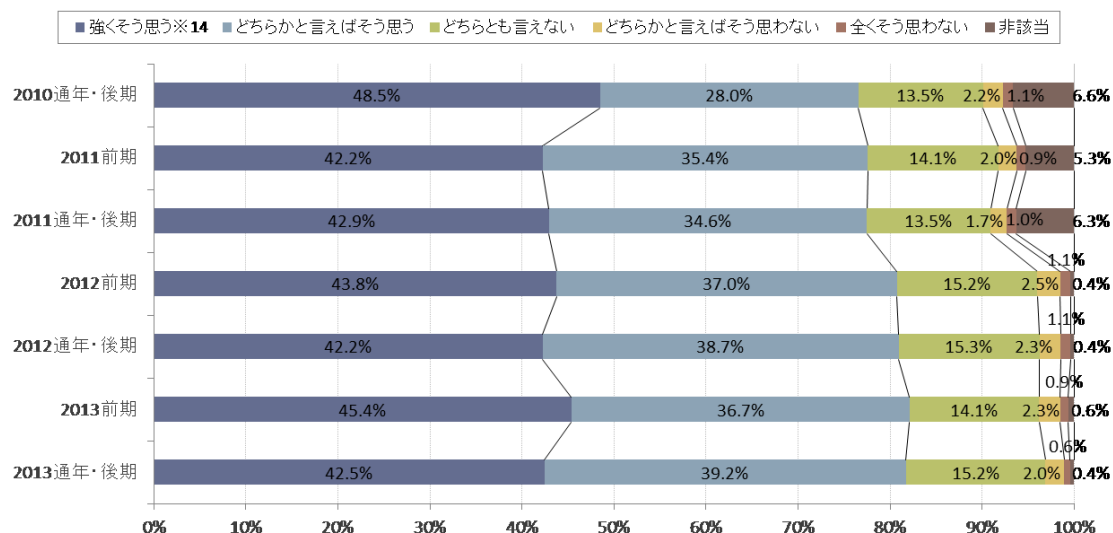
※12 2010 選択肢 「■全くそう思う」

Q 9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。



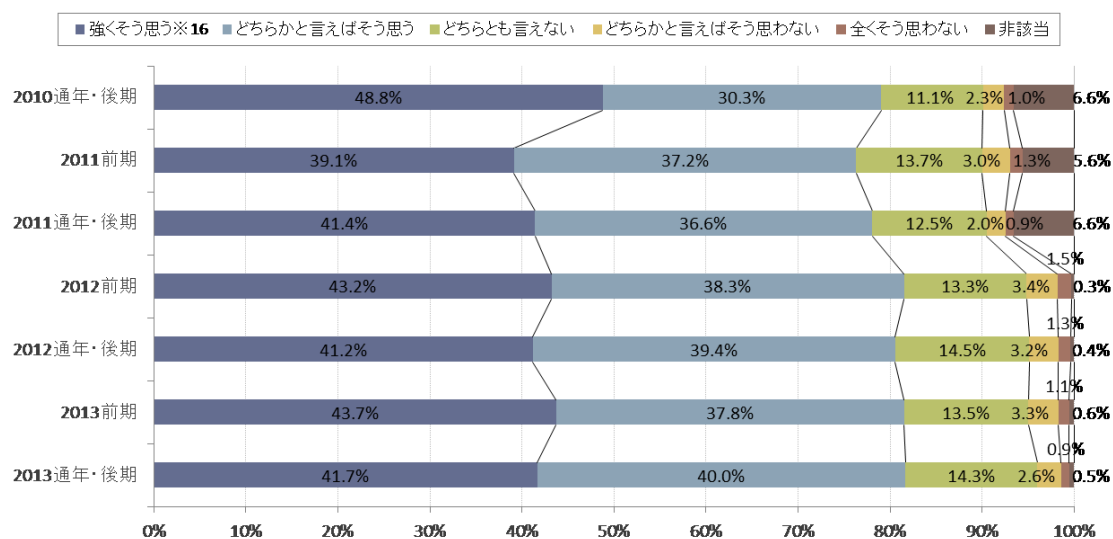
※13 2010 選択肢 「■全くそう思う」

Q10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。



※14 2010 選択肢 「■全くそう思う」

Q11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。 ※15

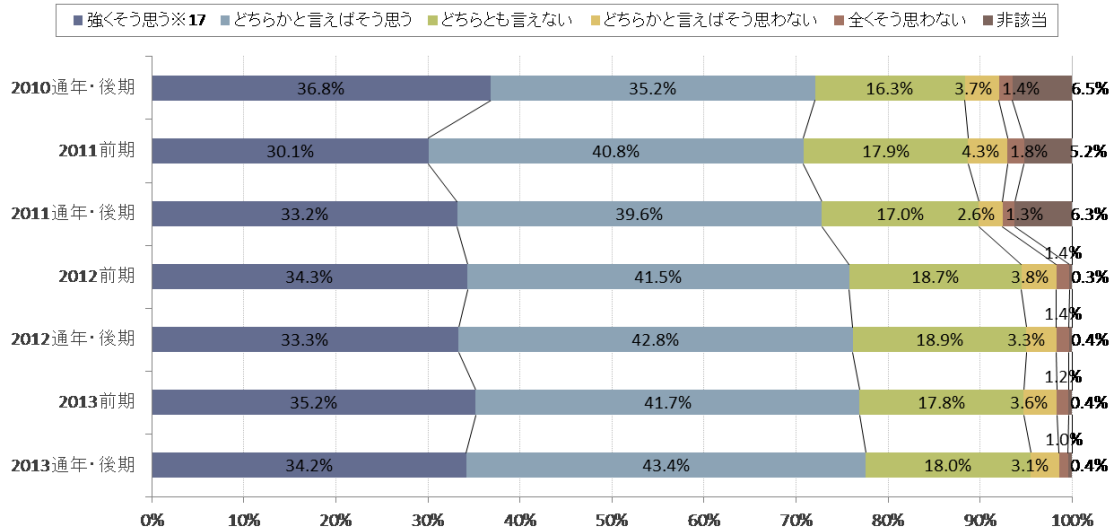


※15 2010-2011 設問

「私語への対処など、教員は静かな環境を保つよう十分配慮していたと思いますか。」

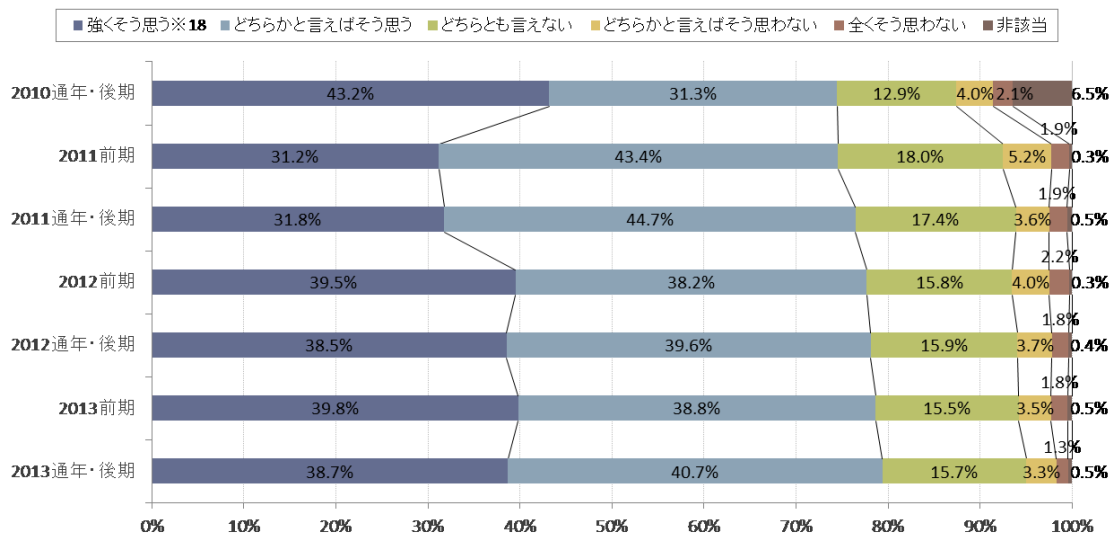
※16 2010 選択肢 「■全くそう思う」

Q 1 2 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。



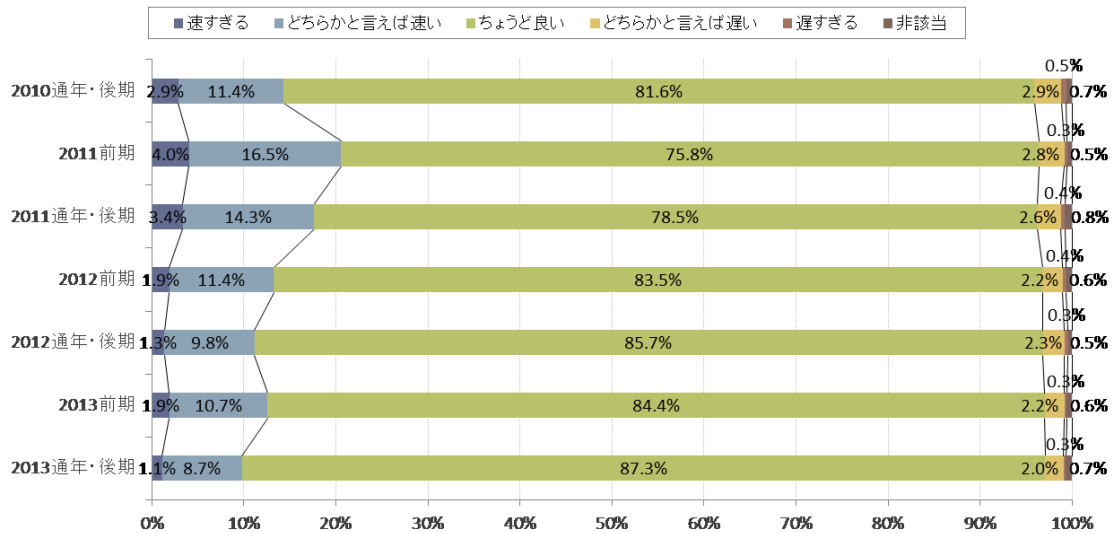
※17 2010 選択肢 「■全くそう思う」

Q 1 3 この授業の内容に興味を持つことができましたか。

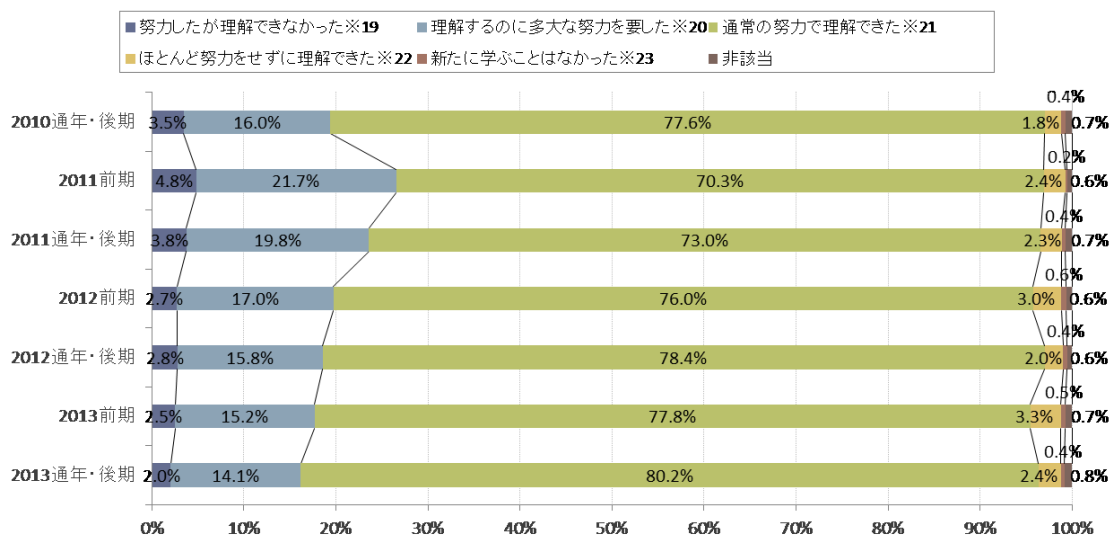


※18 2010 選択肢 「■全くそう思う」

Q14 この授業の進度は適切でしたか。



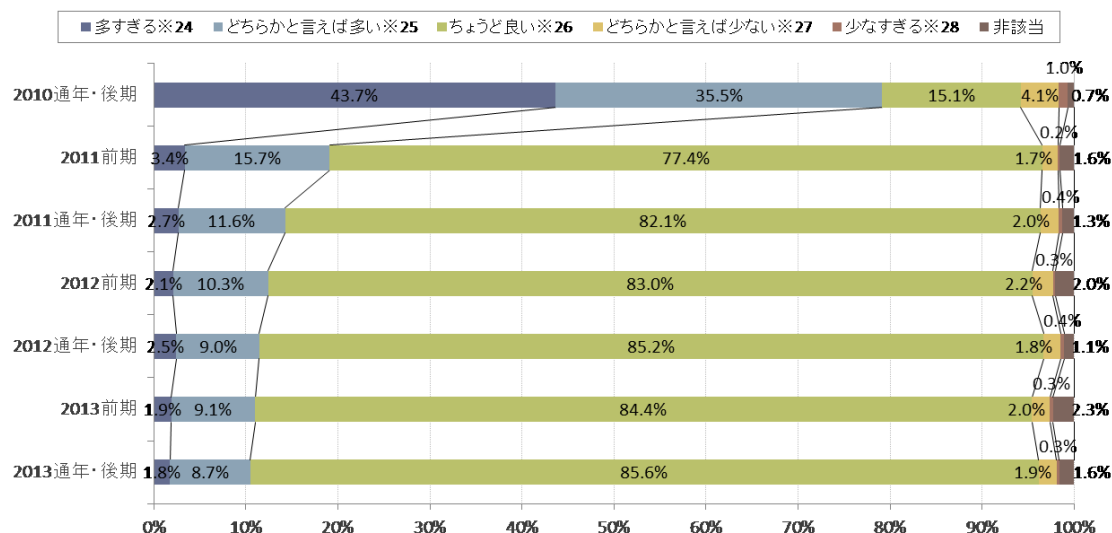
Q15 この授業の難易度は適切でしたか。



※19※20※21※22※23 2010-2012 選択肢

■ 難しすぎる ■ どちらかと言えば難しい ■ ちょうど良い ■ どちらかと言えば易しい ■ 易しすぎる

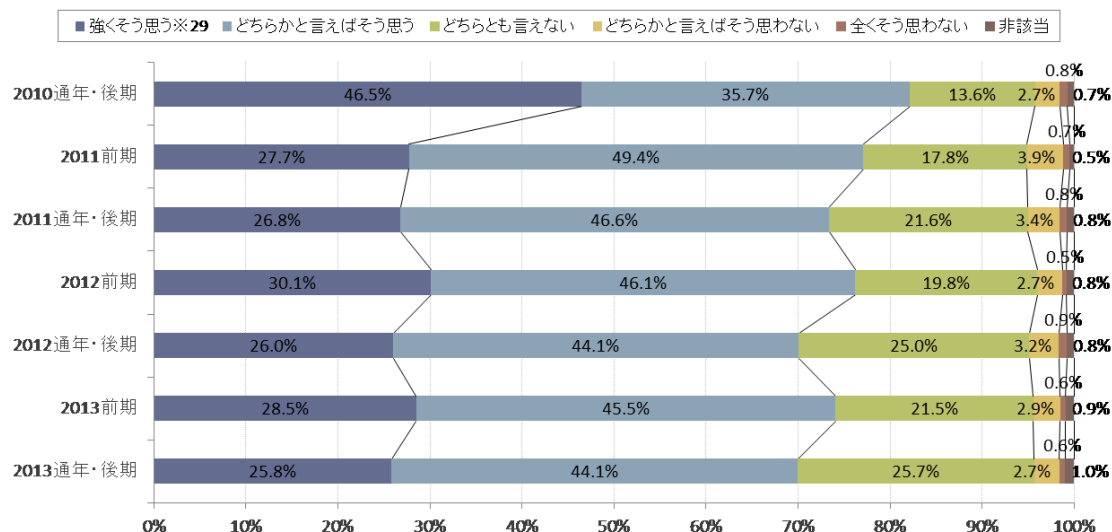
Q16 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。



※24※25※26※27※28 2010 選択肢

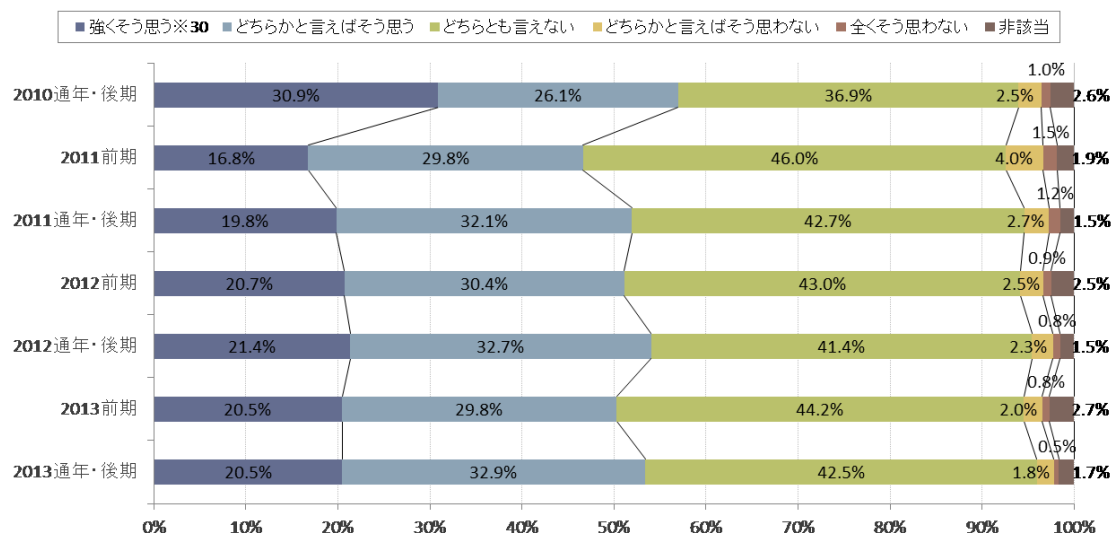
■ 全くそう思う ■ どちらかと言えばそう思う ■ どちらとも言えない
■ どちらかと言えばそう思わない ■ 全くそう思わない

Q17 教室の設備は適切でしたか。



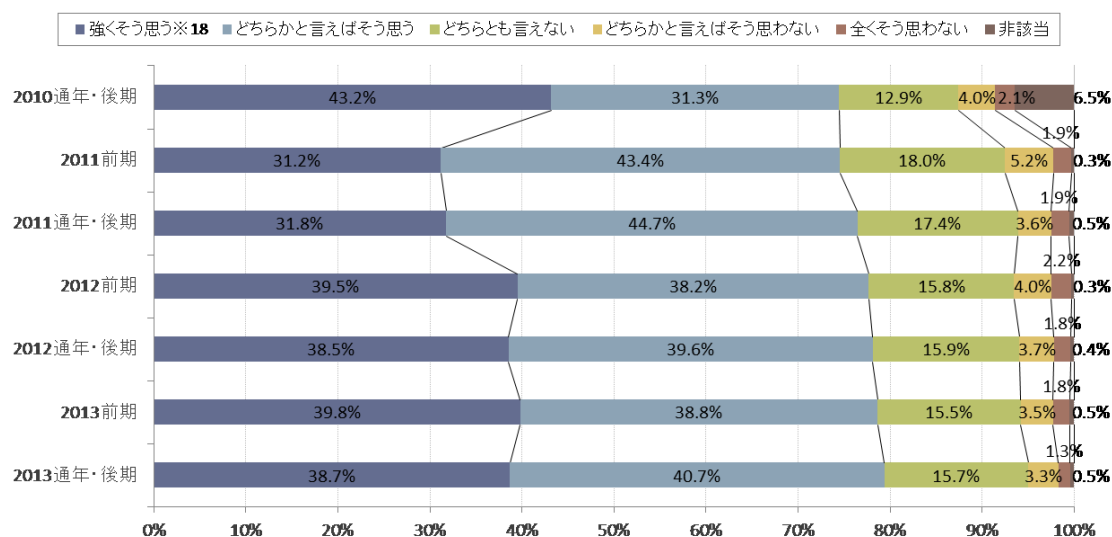
※29 2010 選択肢 「■ 全くそう思う」

Q 1 8 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。



※30 2010 選択肢 「■全くそう思う」

Q 1 9 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。※31

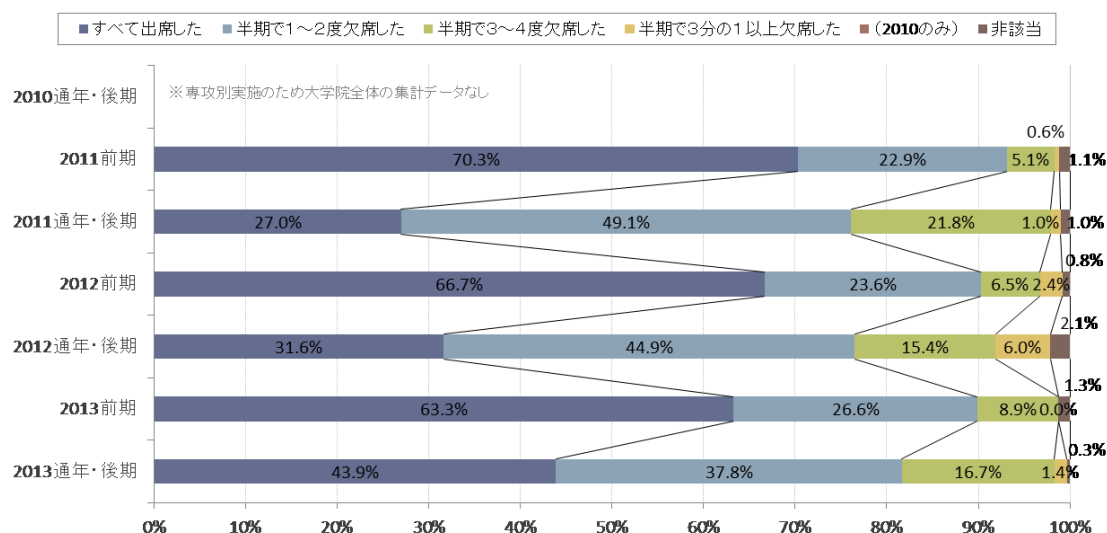


※31 2010-2011 設問 「この授業に満足していますか。」

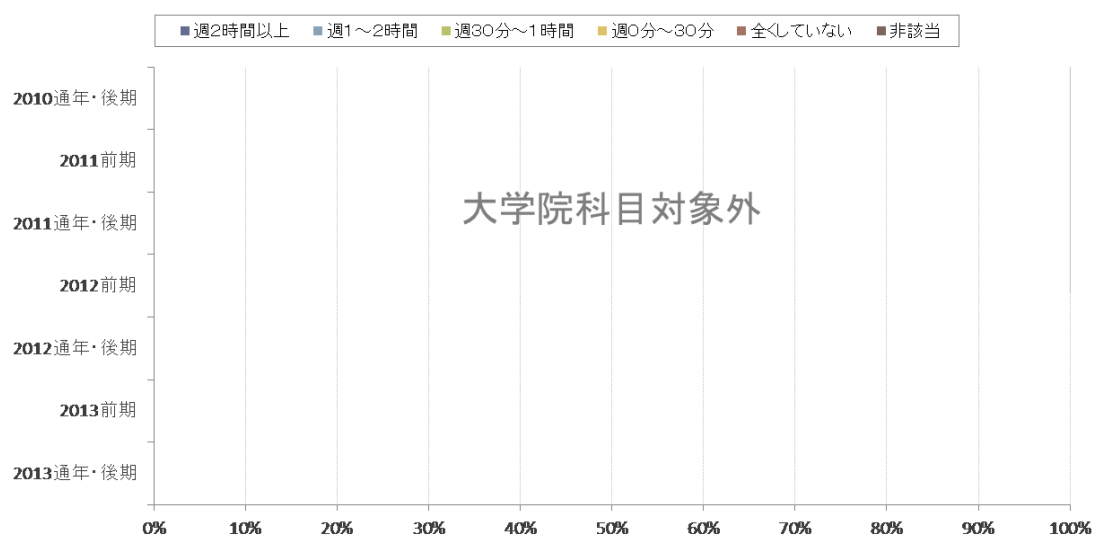
※32 2010 選択肢 「■全くそう思う」

② 大学院

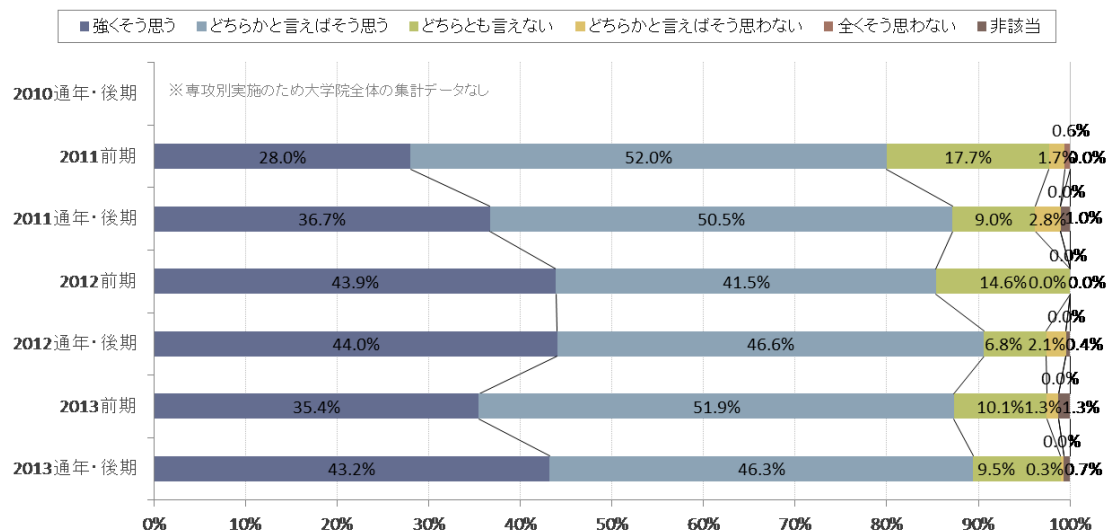
Q1 この授業にどの程度出席しましたか。



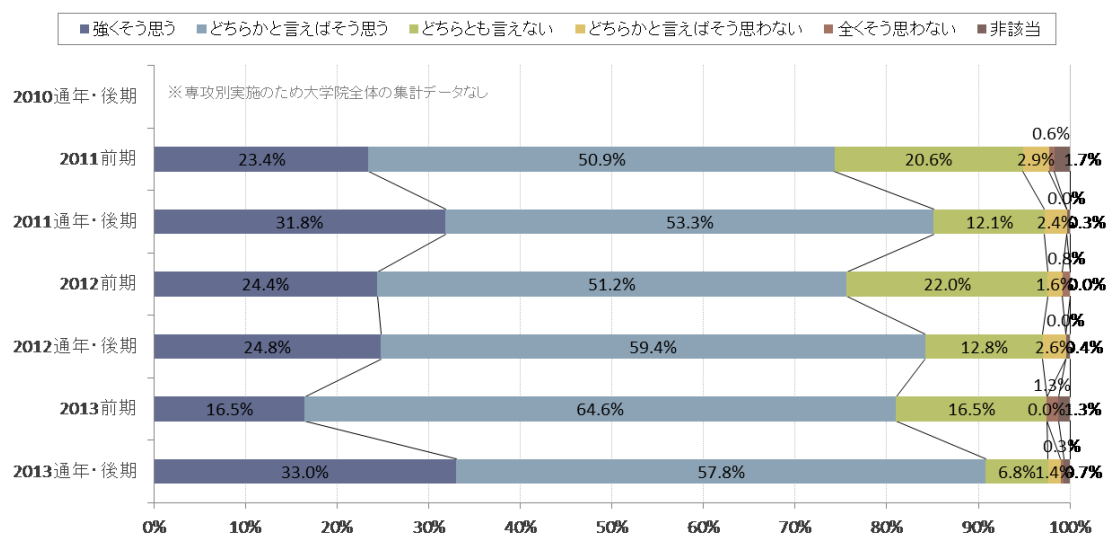
Q2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。



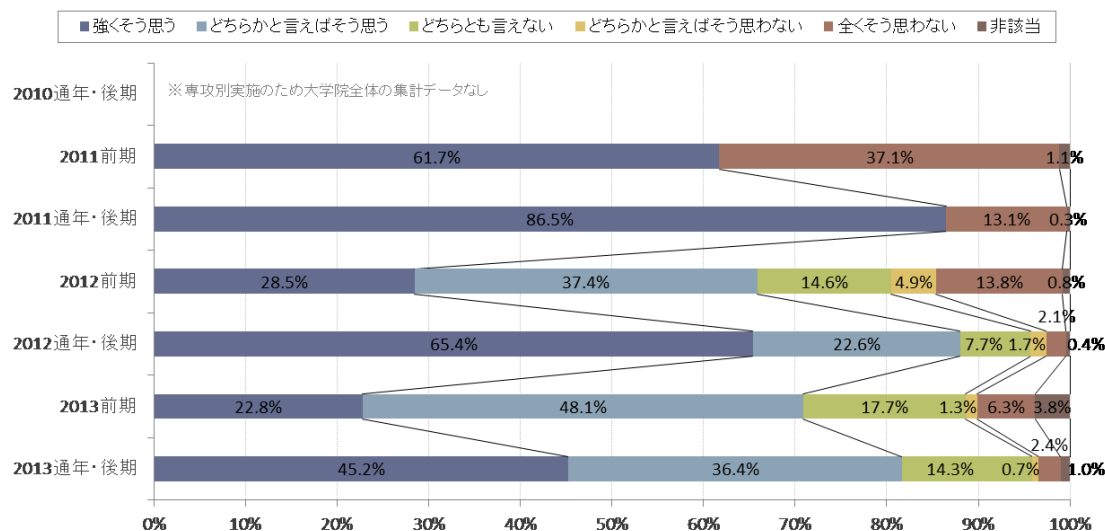
Q3 この授業に主体的に取り組むことができたと思いますか。



Q4 この授業の内容を十分に習得できたと思いますか。

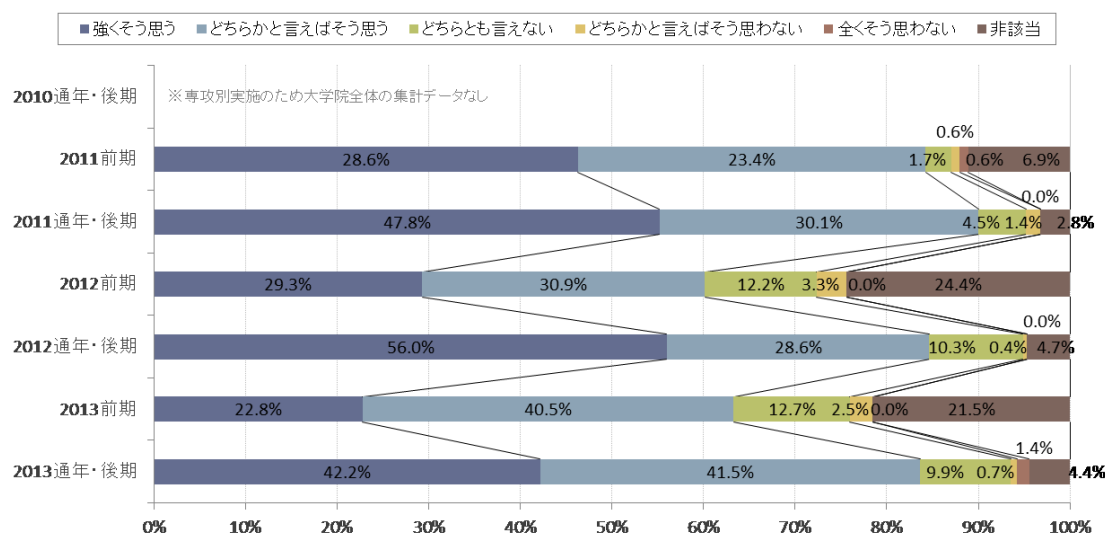


Q5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。 ※1



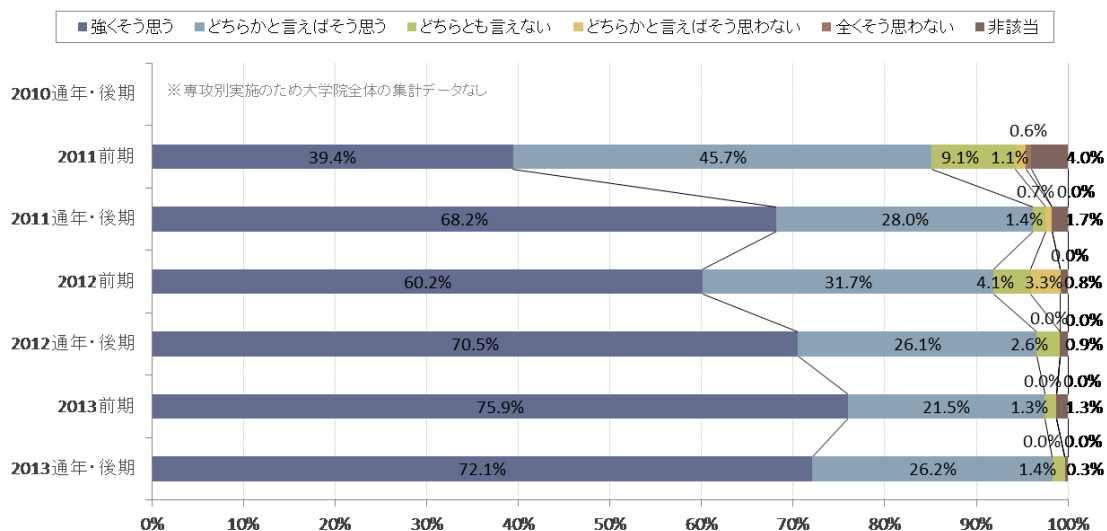
※1 2011 設問 「この授業のシラバスの記述を事前に読みましたか。」 → 「■はい ■いいえ」

Q5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ) ※2

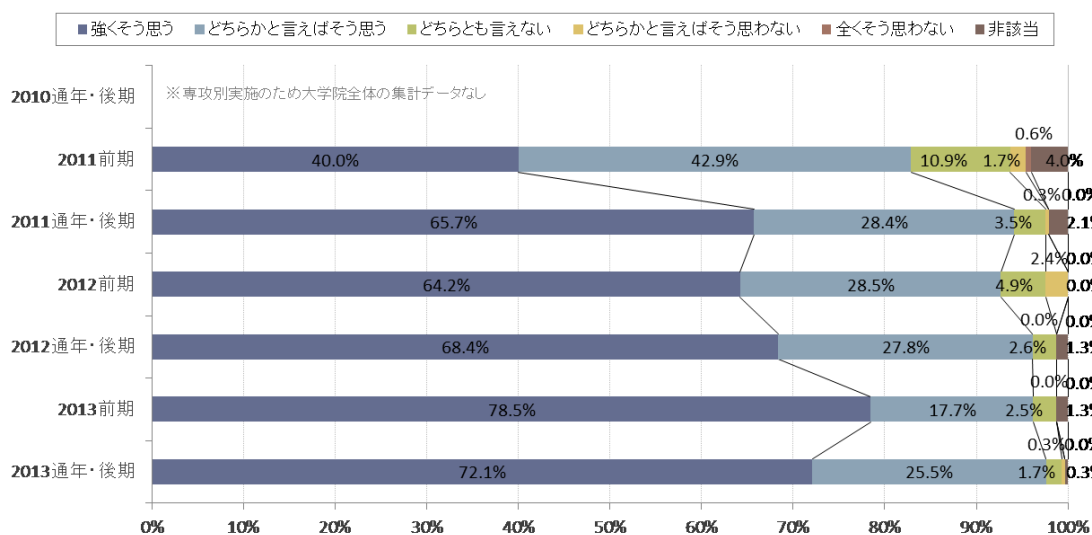


※8 2011 設問 「(Q5①で「はい」と答えた人のみ) この授業のシラバスの記述は適切でしたか。」

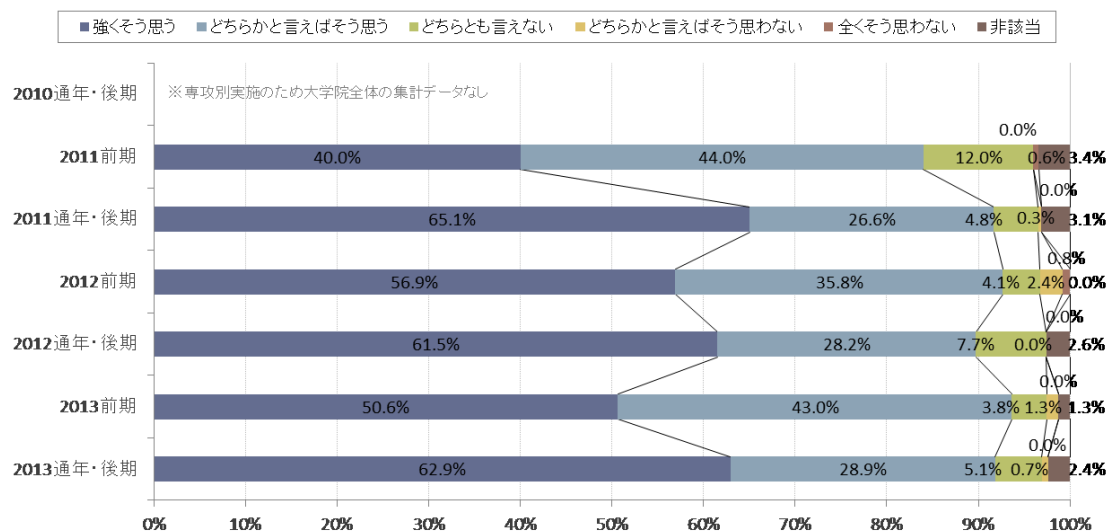
Q 6 教員の話は聞き取りやすかったですか。



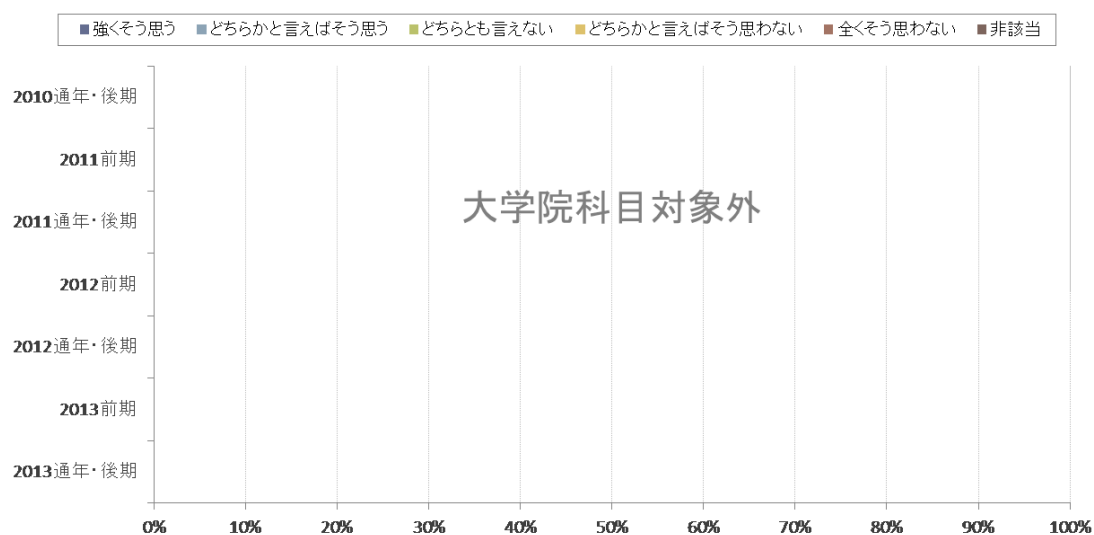
Q 7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。



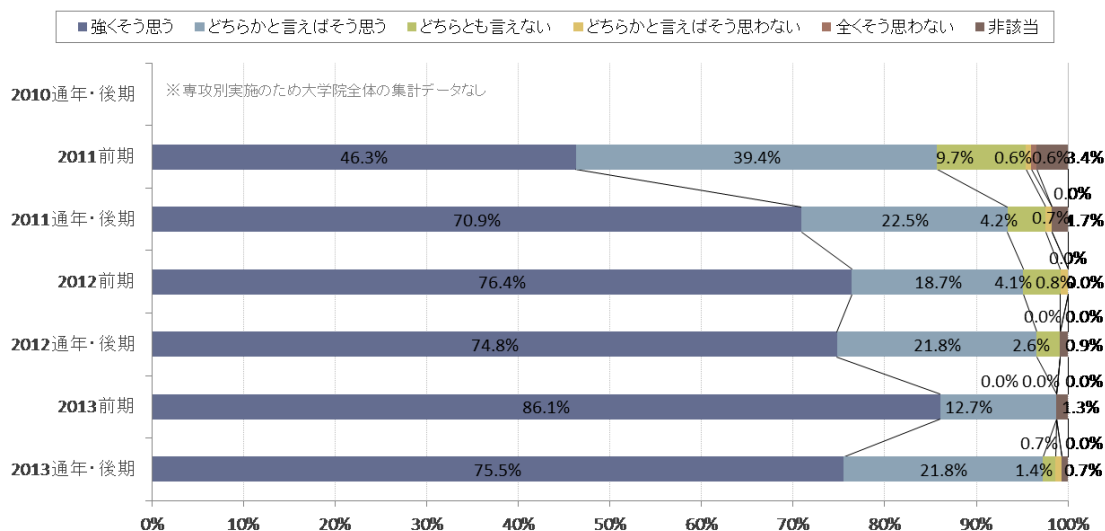
Q 8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。



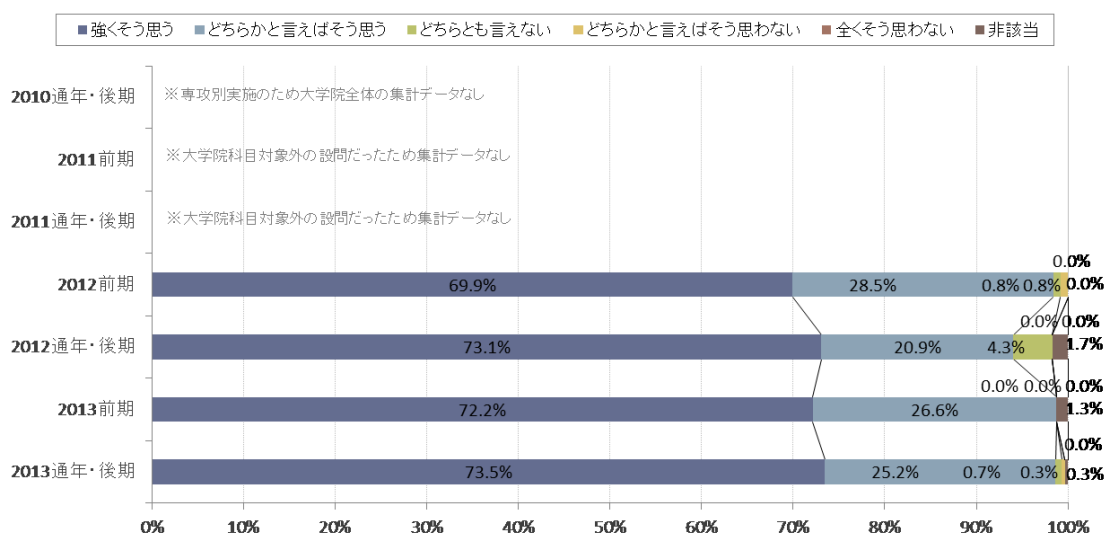
Q 9 (大学院科目対象外) 板書 (パワーポイント等も含む) はわかりやすかったですか。



Q10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。

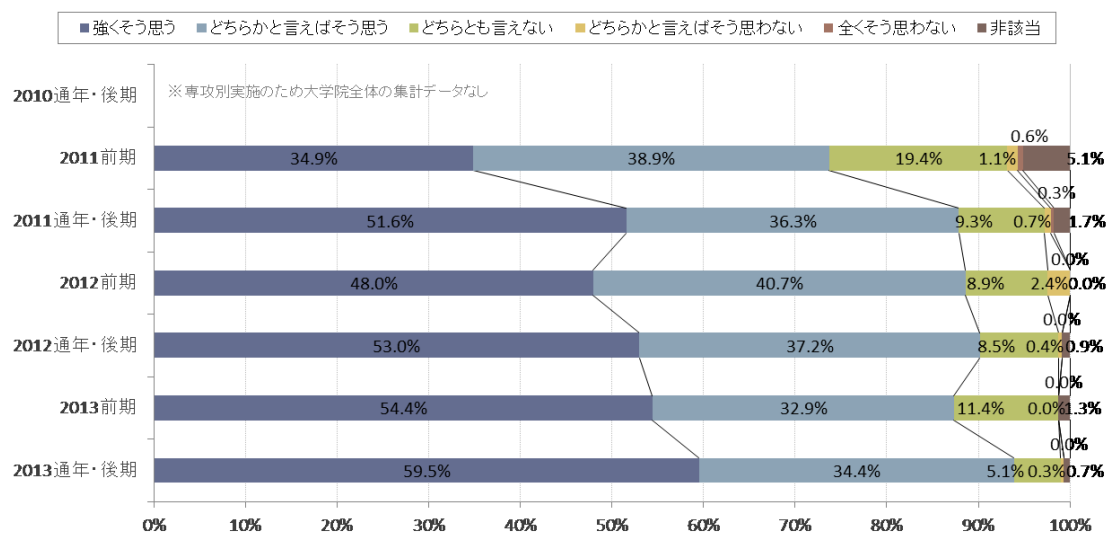


Q11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。 ※3

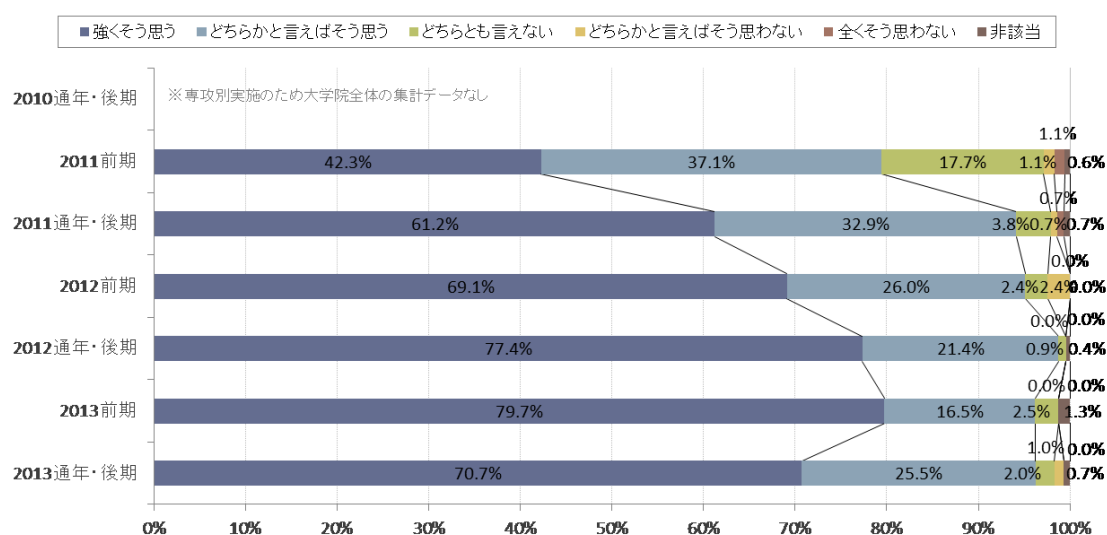


※3 2011 設問 「(大学院科目対象外) 私語への対処など、教員は静かな環境を保つよう十分配慮していたと思いますか。」

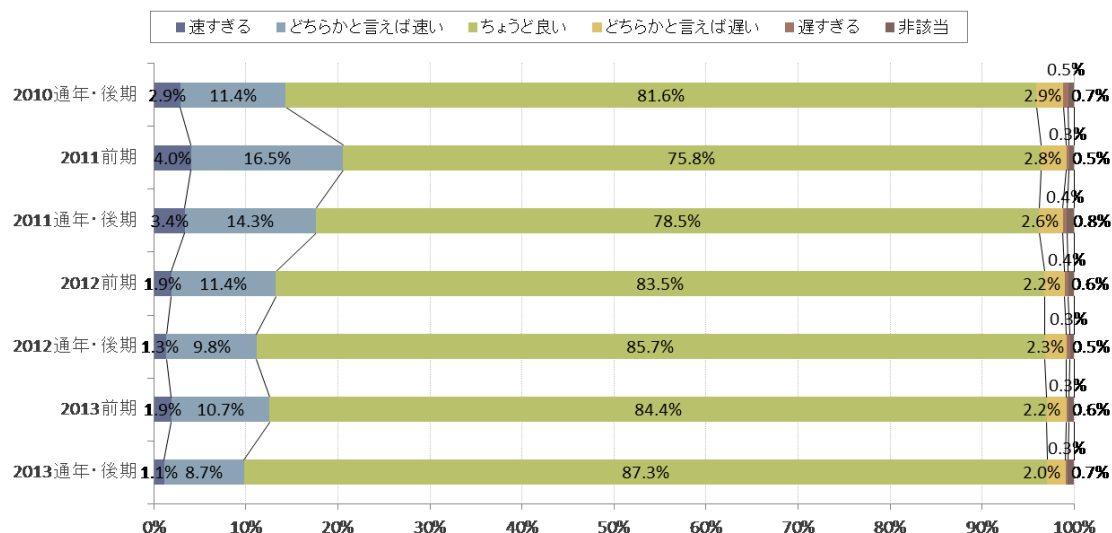
Q12 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。



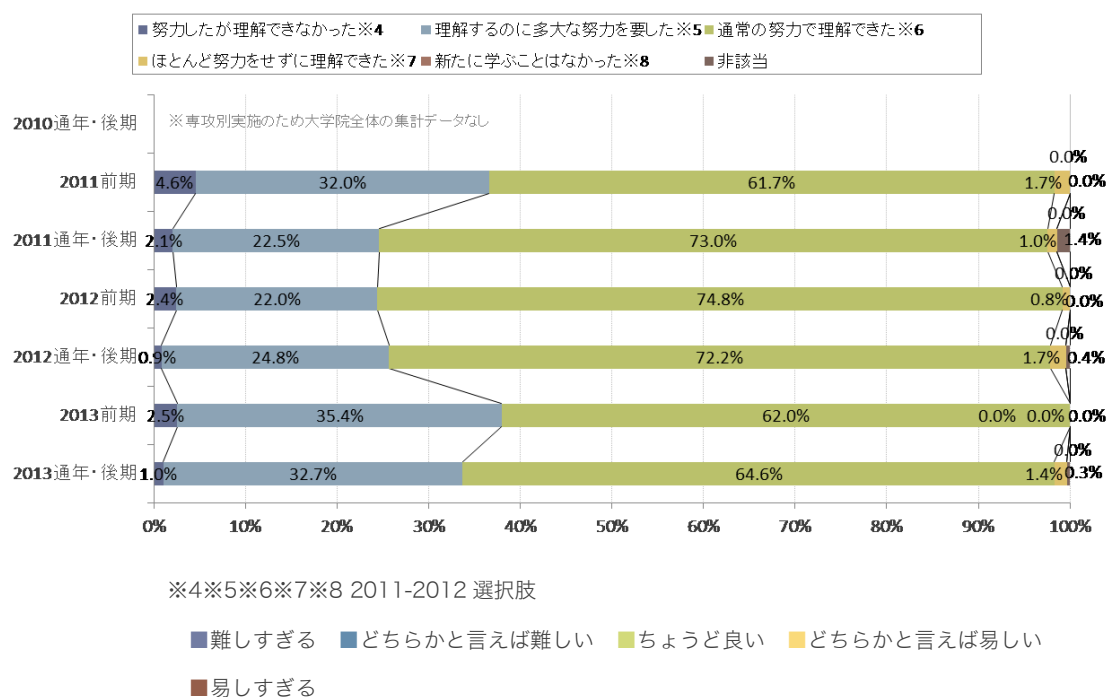
Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか。



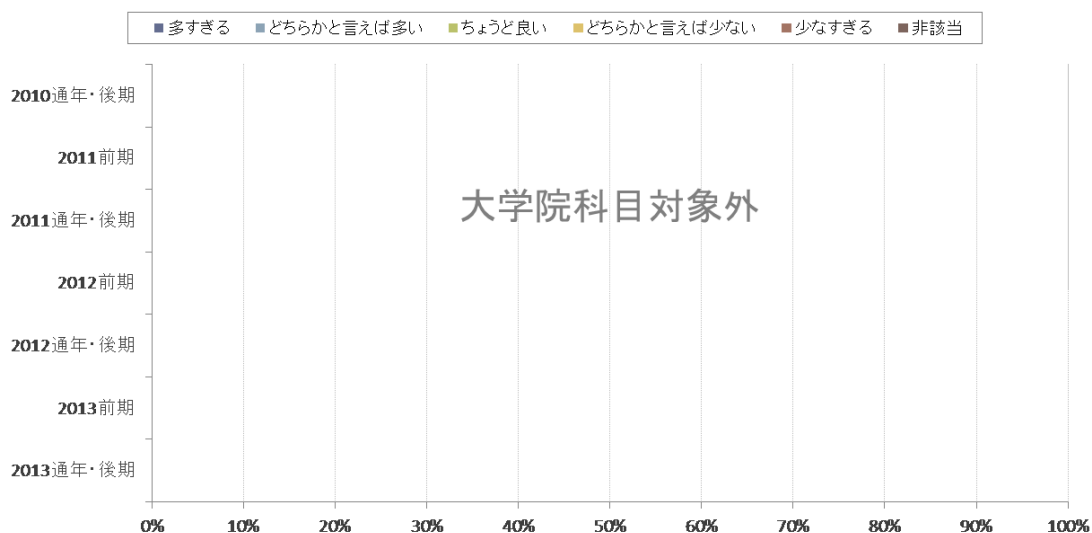
Q14 この授業の進度は適切でしたか。



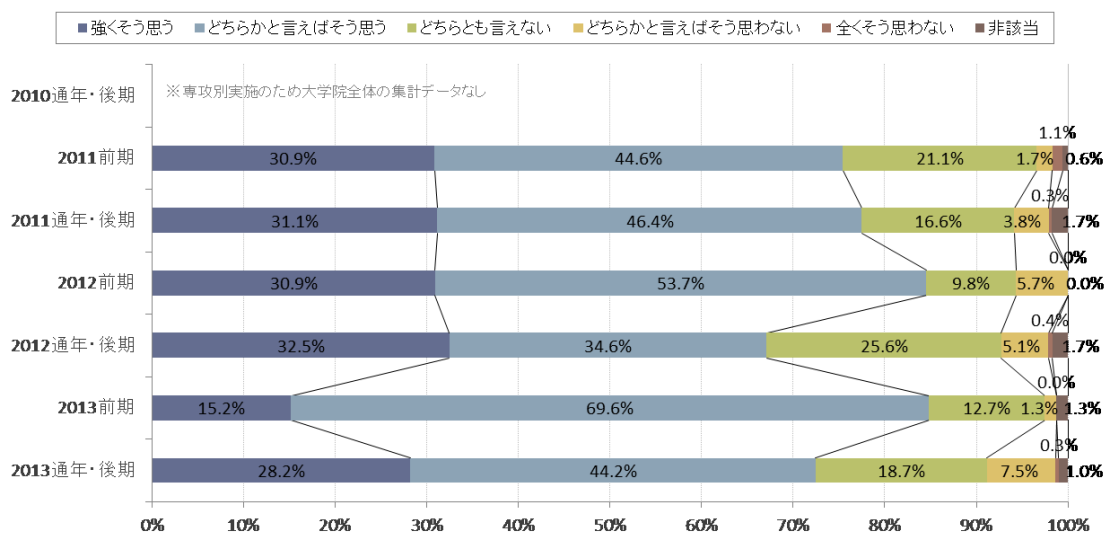
Q15 この授業の難易度は適切でしたか。



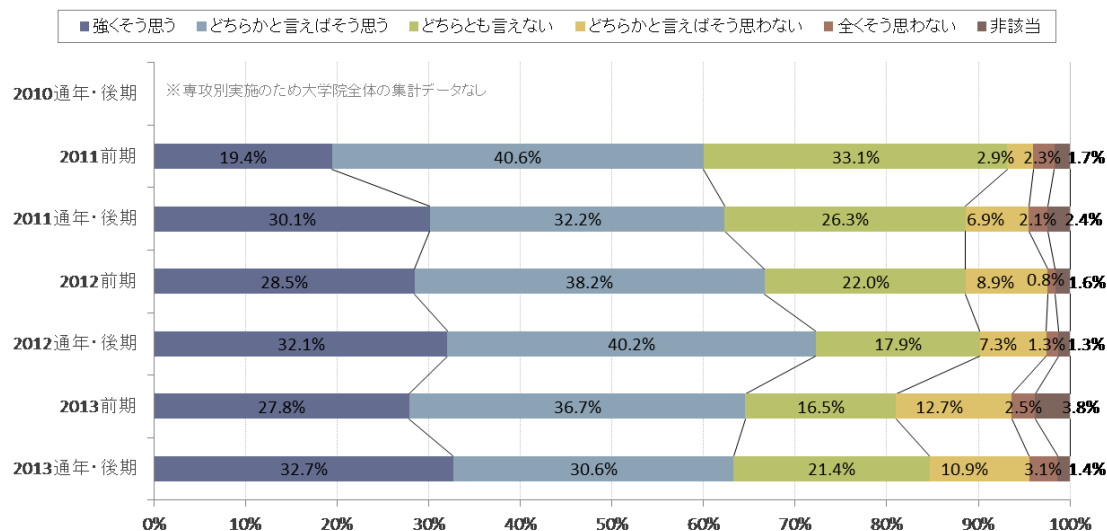
Q 1 6 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。



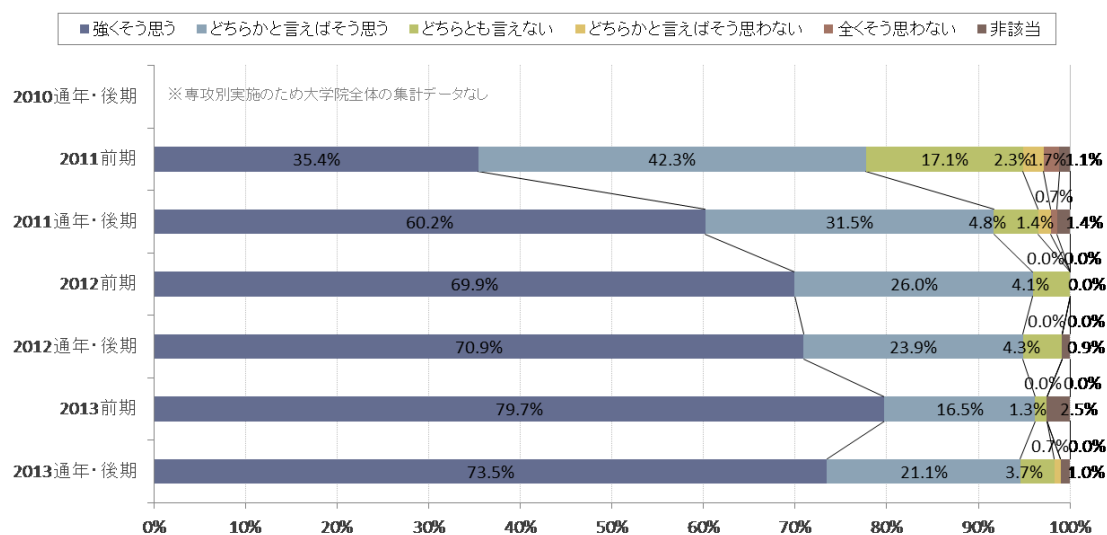
Q 1 7 教室の設備は適切でしたか。



Q 1 8 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。



Q 1 9 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。※9



※9 2011 設問 「この授業に満足していますか。」

お わ り に

FD推進委員長 高本 裕迅
(2013 年度)

FD 推進委員会では、委員を「授業アンケート」「学生・院生対象懇話会」「講演会・形成的評価」の3つのワーキンググループに分けて活動してまいりました。それぞれのグループでの活動はもとより、すべてのワーキンググループの活動を統合しながら、白百合女子大学全体の授業やカリキュラム内容だけでなく、施設・設備などをも含む広範囲な視点から、より良い学びの場の形成に寄与するよう努力を重ねてまいりました。

そして、このたびは、学生へのフィードバックという最重要な事項をより広く周知する目的で「授業アンケート結果」をホームページ上に公表することにいたしました。これは、アンケート結果をより組織的に活用し、また学生の意識向上にも資する点で、有意義なことと考えます。

この「授業アンケート」は、FD推進委員会、教務部が中心となって、全学での授業評価アンケートを実施しています。アンケートは、その活用法が最も大切であり、その意味でも、経年変化にも注視しつつ、アンケート結果に対する教員の所見なども重要な参考資料とし、その中から改善の必要のある事項を洗い出し、その項目内容によって、関係部署と相談しながら改善法を模索し、できる限り解決する努力をしております。

また、調査方法、内容も、回を重ねるたびに、より効率的な方法が提案・実施され、また内容については、経年変化をそこなわない範囲で修正をしております。

今後の更なる改善のために、ぜひともご高覧いただきまして、ご意見、ご助言をいただければ幸いです。